

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

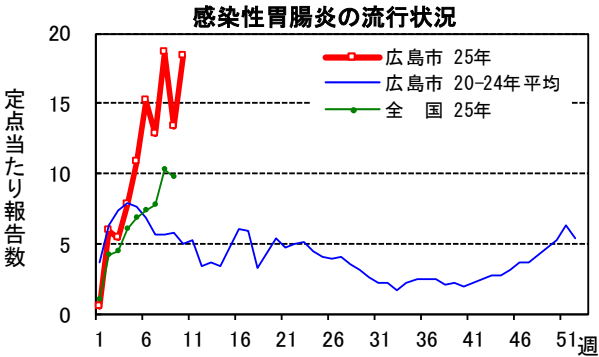
コメント

- 1 感染性胃腸炎

定点当たり18.43人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。
- 2 RSウイルス感染症

定点当たり1.26人の報告があり、増加傾向です。また、例年同時期より多い状況が続いており、注意が必要です。
- 3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.94人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	36	1.00	6.93	⇒	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.03	
	新型コロナ(COVID-19)	70	1.94		⇒		流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	29	1.26	0.24	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.42			流行性角結膜炎	12	1.50	0.35	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.47	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	424	18.43	5.06	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	4	0.67	0.03	
	手足口病	-	-	0.19			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	6	0.26	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.83	0.03	
	突発性発しん	6	0.26	0.22							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	23	20歳代・推定感染地域: 国外・1人、60歳代・1人、70歳代・2人、80歳代・1人、90歳代・1人
3	細菌性赤痢	1	1	20歳代・推定感染地域: 国外
4	E型肝炎	1	1	40歳代
4	デング熱	1	3	30歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	2	90歳代・市外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	8	70歳代、90歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	70歳代
5	梅毒	2	26	20歳代、40歳代
5	百日咳	7	28	10歳代・4人、40歳代・2人、50歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

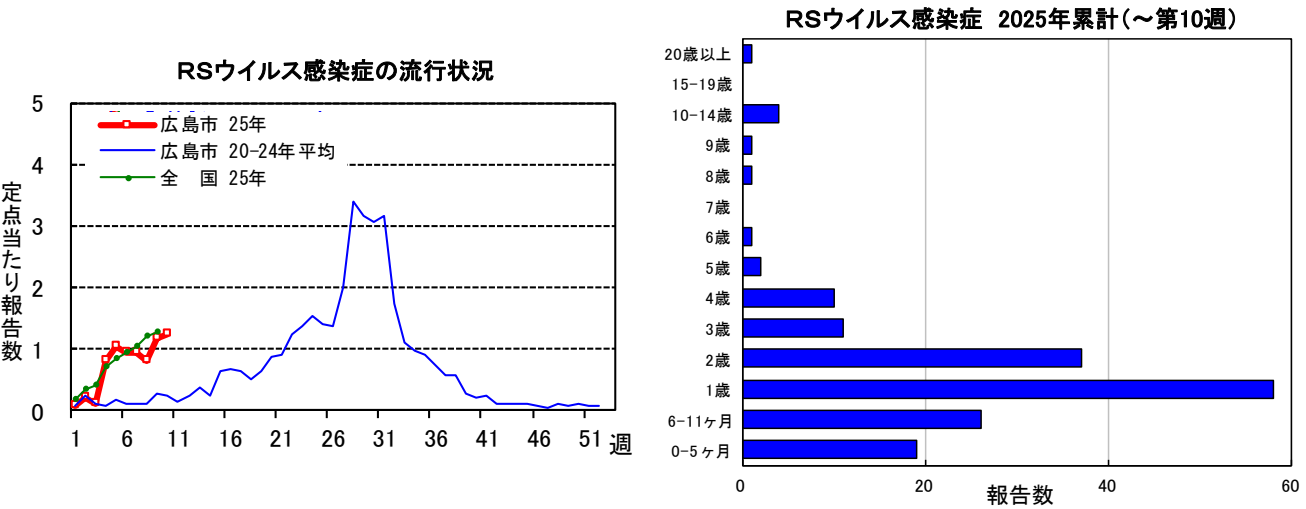
			インフルエンザ	(C O V I D - 1 9) 新 型 コ ロ ナ	R S ウィルス 感 染 症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺 炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感 染 性 胃 腸 炎
報告数	広島市	第6週	62	96	22	8	31	348	3	-	5	2	-	1	1	13	-	-	4	-	1	
		第7週	57	88	22	5	35	295	-	-	1	4	1	1	1	7	-	-	4	-	1	
		第8週	49	84	19	2	39	429	4	1	4	-	-	2	-	4	-	-	3	-	-	
		第9週	37	102	27	13	31	307	-	-	3	4	1	-	1	1	-	-	5	-	4	
		第10週	36	70	29	3	44	424	-	-	6	6	-	-	-	12	-	-	4	-	5	
定点 当 た り	広島市	第6週	1.72	2.67	0.96	0.35	1.35	15.13	0.13	-	0.22	0.09	-	0.04	0.13	1.63	-	-	0.67	-	0.17	
		第7週	1.58	2.44	0.96	0.22	1.52	12.83	-	-	0.04	0.17	0.04	0.04	0.13	0.88	-	-	0.67	-	0.17	
		第8週	1.36	2.33	0.83	0.09	1.70	18.65	0.17	0.04	0.17	-	-	0.09	-	0.50	-	-	0.50	-	-	
		第9週	1.03	2.83	1.17	0.57	1.35	13.35	-	-	0.13	0.17	0.04	-	0.13	0.13	-	-	0.83	-	0.67	
		第10週	1.00	1.94	1.26	0.13	1.91	18.43	-	-	0.26	0.26	-	-	-	1.50	-	-	0.67	-	0.83	
	全国	第8週	2.22	4.96	1.22	0.29	2.44	10.36	0.27	0.06	0.56	0.20	0.01	0.03	0.03	0.82	0.02	0.03	0.37	0.01	0.11	
		第9週	1.89	4.42	1.27	0.25	1.95	9.83	0.25	0.05	0.57	0.18	0.01	0.04	0.04	0.73	0.03	0.02	0.36	-	0.15	

【参考】RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の小児が少なくとも1度は感染と言われています。感染経路は接触感染と飛沫感染で、潜伏期間は2～8日(典型的には4～6日)です。生涯にわたって感染を繰り返し、症状は発熱、鼻汁などの軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々です。多くは軽症で自然軽快しますが、生後6か月以内の乳児などの重症化リスクが高い方は、細気管支炎や肺炎などを起こし重症化することもあります。

年々流行時期が早くなる傾向があり、今年は1月から増加しています。

感染を予防するには、おもちゃや手すりなど手の触れる部分のアルコールや塩素系消毒剤などでの消毒、流水・石鹸による手洗いや咳エチケットが大切です。



RSウイルス感染症の重症化リスクが高い方

- ・生後6か月以内の乳児
- ・早産児や生後24か月以下で心肺に基礎疾患を有する小児
- ・神経・筋疾患又は免疫不全の基礎疾患を有する小児
- ・慢性呼吸器疾患などの基礎疾患を有する高齢者

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp